AKITA JC NEWS
http://www.akitajc.jp
2006年度スローガン
夢の実現へ邁進　行動力こそＪＣらしさ
発行人／渡部　羊三　発行所／(社)秋田青年会議所情報戦略推進委員会
事務局／秋田市山王2-1-54三交ビル3F　TEL018-824-7070
No.4-2006
平成18年４月30日発行

4月例会を終えて

去る４月１２日、秋田キャッスルホテルに於いて４月例会を開催致しました。地域文化研究会ＡＫＩＴＡ主宰であり、秋田大学名誉教授・秋田県立大学名誉教授、文学博士の佐々木久春先生を講師としてお招きし「地域への誇りが、まちづくりの原動力」をテーマに、

ご講演を戴きました。秋田の歴史や、先人達の偉業によって培われた「秋田の風土と文化」について文学的な要素を織り交ぜながらご講演戴き、秋田の魅力を再発見・再認識をさせて戴きました。

また、当委員会で企画している高清水地域等の歴史や史跡資源を活用し、秋田の風土を活かした「市民協働のまちづくり事業」について貴重なご意見と資料を賜り、今後の事業展開にあたり、この上ない機会となりました。

この例会で得た「秋田への誇り」と佐々木先生からの事業に対する貴重なアドバイスを活かし、委員会メンバー一丸となって、委員会事業成功に向け全力で取り組んでいきたいと思います。最後になりましたが、委員会メンバーの傑出した結束力と会員の皆様のご協力をもって無事に例会を終えることが出来ました事に感謝申し上げます。ありがとうございました。そして今後とも宜しくお願い致します！

魅力あるあきた推進委員会
委員長　工藤　浩一

第26回サケの稚魚放流事業

４月１５日土曜日、添川飛鳥田の河川敷公園におきまして、「第２６回サケの稚魚放流事業」を例年通り開催致しました。天候にも恵まれ、多くの市民の方々に参加して戴きました。

当日、早朝から担当の渡部副理事長の指導の下、同室の青少年育成委員会メンバーに協力して戴き会場設営、ゴミ拾いを行い、定刻１０時に開会致しました。渡部理事長、佐竹市長から挨拶を戴いた後、今年は旭川小学校によるクイズ仕立ての学習発表が行われました。

松本委員長からの注意事項の説明の後、佐竹市長にも協力して戴き稚魚配りへと移り、子供達の「ドジョウみたい」の声に市長が「この魚はサケっていうんだョ、１メートルも大きくなる魚だよ！秋田弁でボダッコ、おにぎりに入ってるべ！！」と会話しながら子供達のバケツに稚魚を配っていました。子供達も嬉しそうに何回も何回も列に並び「いっぱい入れて！」と目を輝かせていました。３０分位で８万尾あまりの稚魚は全て放流されました。

３歳の息子が帰りの車中「サケさんいつ帰ってくるの？明日もサケさん川に返しに行こう！」と言っているのを聞いて、この事業のすばらしさ、意味を感じ取れたような気がしました。

最後になりますが、ＯＢの皆様と会員の皆様の多数の参加と御協力と御支援のおかげで事故もなく、事業を終えることが出来ました。本当にありがとうございました。　　**環境行動推進委員会　　佐々木　創一**

ソーラーカー同好会について

春の陽光がいよいよまぶしくなり、ソーラーカーの季節がまた巡ってきました。

我々メンバーも毎年7月下旬の大潟村で開催されるレースに照準を合わせて、これから徐々に忙しくなることでしょう。

レース本番の案内は後日アナウンスしますが、皆様の御出をこころからお待ちしております。まったりと暑いレースをご覧入れますよ。

さて我々の活動のご本尊はもちろんソーラーカーですが、レース週間以外のオフシーズンは、今年の冬のように長い冬眠を強いられています。

その勇姿はあたかも桜の咲いている期間ほどしか見ること出来ず、実際には升谷先輩のガレージに年間360日程度停泊しているのが現状です。

会員拡大のパンフレットにも載せている活動ですので、何かもう少し有効な使用方がないものか模索をしている処です。皆様のご意見、ご参考をお聞かせ願えれば幸いです。新しいアイデアでソーラーカー同好会の、次のページが開くことの出来るようお願い致します。

環境行動推進委員会　ソーラーカー同好会会長
佐々木寛人

出向先より　～皆さん　お元気ですか？～

本年度、社団法人日本青年会議所　東北地区協議会組織戦略特別会議へ議長として出向しております。ラストイヤーですが今まで培った知識を活かし皆様のお役に立てればと思い、日々東北地区を走り回っております。さて、この出向先ですが皆様「公益法人制度改革」なんぞご存知でしょうか？内容を詳しく説明するとＪＣＮＥＷＳ全ページ使用しても書けませんが、我々社団法人が関係する関連３法案が、今国会で成立すると２００８年（平成２０年）４月に試行されます。その内容は、社団法人と財団法人の事を詳細に規定した特別法ですのでかなりの部分が法律によって規定されます。（かなり省略）これに伴う組織運営を各青年会議所が検討、対応し戦略的に組織進化できるようサポートするのが組織戦略特別会議です。「岩本がわかるのか？」などと言われそうですが、聞いているうちに何となく、打合せをしているうちに少しずつ、走り回っているうちにしゃべるようになり、５月～７月には、東北各６県でセミナーを開催することになりました。秋田でもやりますので（６月３日）詳細なご案内届きましたら是非、参加してみてください。

出向理事　岩本之正

『趣味でもあり仕事でもあるオートバイ』

私の趣味は気がつけば職業までにしてしまっているオートバイです。小さい頃から一番身近にあったからこそあまり特別な物とは思いませんでした。中学２年の時、友達と『ハイティーンブギ』という映画を観に行き、そこで「バイクってカッコイー！」と思いそれから現在までに至っております。

１７歳の時にオートバイの免許を取得して初めて北海道に行った時はとても感動しました。今の様に簡単にインターネットでの情報収集など出来ず、ツーリングメンバー達と数ヶ月前からのフェリー予約、旅館の手配、先輩達から道内の見所など情報収集をして予定の打ち合わせをして徐々に気分が高まっていったのを覚えております。

やはりツーリングに行った先々では色々なサプライズがあり、メンバーのバイクの一台がパンクをしてそこでパンクの修理をしたり、高速道路で雨が降ってきたのでバイクを止めてカッパを着ていたらパトカーが来てみんなで違反切符を切られたり、ミーティングでは予定に入っていなかった事が次々に起こっていました。お盆の時期にもかかわらず釧路に行くと皮つなぎを着ていても歯がガタガタする程寒いし、雨など降った時には最悪でした。

しかしこれはオートバイだから感じ、深く思い出に残っている出来事ではないかと思います。その他移動の手段でもありますが、車体その物のシルエット、鍵をひねってスタートボタンを押し聞こえるサウンド、オイルの燃える匂い、何かバイクの宣伝のような感じもしますが私にとってそんなオートバイは仕事でもありますが、プライベートで触っている時にはまた別の感覚でストレス解消の道具でもあります。

環境行動推進委員会　　佐藤　淳

5月例会案内

テーマ・大人が子供たちにできること　～地域・学校・家庭の連携～

平成１８年５月１６日（火）１８：３０より、秋田ビューホテルにて５月例会を開催致します。地域と、学校、家庭が連携することで、子供たちに何ができるのかを考えます。講師に天理大学人間学部教授の今西幸蔵氏をお迎えし、地域と学校と家庭が協力して行っている全国での様々な取り組みや、事業の進め方などを学びます。そして後半にはオブザーバーとして参加していただく学校関係者やＰＴＡ関係者の方とのディスカッションの時間も用意してあります。みんなで協力して秋田の地に合った、子供たちへの取り組みを実際に進めるために考え、地域全体で子供を育てる共育の意識を高めたいと思いますので、多くのメンバーの参加をお待ちしております。今回は会場が秋田ビューホテルなのでご注意下さい。

青少年育成委員会　委員長　小野貴信

「５月例会」

日　時　**平成18年５月16日（火）18：30～**

会　場　**秋田ビューホテル　４階　放光の間**

講　師　今西　幸蔵**氏**（天理大学人間学部教授）

テーマ　「大人が子供たちにできること」
～～地域・学校・家庭の連～

編集後記

今年度初めてＪＣニュースを発行する側を担当させて戴きまして、皆様のご苦労がよくわかりました。不慣れな為、皆様にはご迷惑おかけする事と思いますが、精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。最後に今月号の記事にご協力して下さった方々に心から感謝致します。

ありがとうございました。

情報戦略推進委員会　　佐藤宏樹